



例会報告

高山西ロータリークラブ

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 古橋 直彦
- 幹事 遠藤 隆浩
- 会報委員長 塚本 直人

もみじ
蜘蛛 康介

<会長の時間>

先週末の土曜日、高山中央RCの創立25周年記念式典のお祝いに行っていました。西クラブからは次年度劔田ガバナー年度に地区幹事として出向して頂く小森丈一さん、地区広報委員長の伊藤松寿さん、中央RC創立に貢献なされた山本善一郎さんそして会長・幹事の5名が招待を受けました。



中央クラブは次年度、劔田ガバナーを輩出されます若く活力あるクラブではありますが、式典は厳粛に執り行われ、当クラブもスポンサークラブとして感謝状を頂きました。また、友好クラブの平塚湘南RCからも30名近くの方がお祝いに駆け付けられ、すばらしい創立25周年記念式典・祝賀会でした。

今年は高山青年会議所も10月3日に創立60周年を催されました。丁度この日は、台北東海RCの歓迎例会と重なり門前副会長に出席していただきましたが、昔から「JCは準備のJ・セレモニーのC」と言われるほど来賓や招待者への心配りや式典での人員配置や進行もよく考えられ長けたものがあります。諸先輩のお話では今回も若者らしく活力ある式典だったと聞きました。

さて、本日は午後3時から当クラブのスポンサークラブでもあります高山ロータリークラブの創立60周年がホテルアソシア高山リゾートで開催されますので遠藤幹事とお祝いに行って来ます。

今年度、濃飛グループは7クラブ中5クラブが何らかの周年を迎えます。下呂RCも2月に55周年です。こちらは内輪でお祝いをなさいますが、可茂RCは来年2月6日に30周年をなさると言う事で、先日馬場会長より正式にご招待がありました。

さて、本日は堀場巖地区会員基盤増強維持部門委員長様をゲストのお迎えしました。

私の所信表明にも述べましたが会員の増強また維持はクラブの存続のために大変重要な課題です。「特に〇〇周年の年は退会者が増えるので心配だ」とガバナーも申されていましたが現在12月上半期終了時で1名の退会者が出ました。

実は堀場様には昨日多忙の中の処、わざわざ高山まで前乗りをして頂きまして、当クラブの入会4年未満の会員を対象にレクチャーを行って頂き、若い会員が積極的に会員の獲得をして頂く事の重要性を説いて頂き、有意義な時間をもつことができ大変感謝申し上げます。お疲れの処、恐縮ですが本日も宜しくお願ひ申し上げます。

<幹事報告>

◎高山市スポーツ少年団より

- ・「平成27年度高山市スポーツ少年団大会(助成金贈呈式)」ご臨席のお願い

日時 12月6日(日) 10:30より
場所 飛騨高山ビックアリーナ



<受贈誌>

ロータリー米山記念奨学会 (ハイライトよねやま188)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	33名	1名	34名	45名	75.55%
本日	31名	—	31名	45名	68.89%

<本日のプログラム> 会員増強委員会

委員長 堀内 秀文

本日は国際ロータリー第2630地区会員増強部門委員長 堀場 巖 様にお越しいただきました。

8月の増強月間時に皆様に紹介状をお配りして候補者の推薦をお願い致しましたが結果に結びつかず、手ぐすねを引いてお待ちの田近職業分類・選考委員長がしびれを切らし、地区委員長の堀場様に卓話を戴くよう段取りされました。会長の時間でも触れられましたが、昨夕、入会4年未満の会員等中心に集まり、堀場様の岐阜南クラブでの取り組み等について、大変ためになるお話を伺う事が出来ました。早速今後の増強活動に活かして行ければ、と思っています。

では、略歴をご紹介します。

衆議院議員秘書を経て、岐阜県厚生農業協同組合連合会勤務。現在、岐阜花卉園芸 代表でいらっしゃいます。ロータリー歴としては、平成13年10月11日 岐阜南ロータリークラブへ入会、2013-14年度クラブ会長。2014年より2630地区会員基盤・増強維持部門委員長をお務めです。

本日はどうぞよろしくお願ひ致します。



例会報告



会員増強と出席率向上について 国際ロータリー第2630地区会員増強部門委員長 堀場 巖 様

みなさんこんにちは、只今ご紹介を受けました堀場巖です。宜敷しくお願ひします。本日は卓話のご縁をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

暦の上では24節気の立冬、冬の来始めて立つも過ぎ3日後には小雪、寒く少し雪降る。また勤労感謝の日でもあります。いよいよ冬本番となりました。

初めに自己紹介をさせていただきます。私は学校卒業後、天皇陛下と美智子妃殿下御成婚記念事業で当時の岸総理大臣が次代を担う青年に夢と希望、将来の日本を託す為に御殿場に国立中央青年の家をはじめ全国に青年の家と、青年海外派遣事業に力を入れられ、私は昭和36年に胸やカバンに日章旗をつけ北米及び中南米10ヶ国を親善訪問をさせていただきました。

縁あって自民党前総務会長 野田聖子代議士の祖父 野田卯一建設大臣に20代にお仕えし人間修行をし岐阜県農協界に奉職し、20年間農協病院に10年以上本部に在職し、久美愛病院にも度々出かけてまいりました。合併前の飛騨地域の農協や役場はすべて訪問させていただきました定年後民間会社社長を経験しRCに入会し今日に至っております。

さて、今回5月12日田近毅様より、また7月27日古橋直彦会長さんよりご依頼を受け10月12日濃飛グループIM時にお目にかかり本日のご縁となりました。

私の役割はクラブの皆様の増強、維持、出席率向上、ロータリーの魅力の為、会長さん、委員長さんをサポートするのが役割だと思っています。

2013年～2014年度RI第2630地区ガバナー加賀修さんのテーマは、「脚下照顧」足元を照らす、ロータリーの原点を見つけよう、ロータリーは「本気」でその年のテーマに取り組むかでした。そして会員の皆様共々その気を起こすよう努力いただきたいというおられました。

2014年～2015年度RIのゲャーリーC・K・ホアン会長はロータリーに輝きを(LIGHT・UP・ROTARY)石垣智康ガバナーは「耳を傾け、ロータリーに活力を」です。会員増強、奉仕プロジェクトへの参加、ロータリーファミリーへの展開。

2015～2016年度のRIのKR(ラビ・ラビンドラン(コロンボ))会長は「世界へのプレゼントになろう」を受け岡田信春ガバナーは「過去、現在、今、行動するロータリアン」です。会員増強がロータリーにおける最優先課題であると言っておられます。

私は一昨年6月まで岐阜南RCの会長を務めさせていただきました。クラブターゲットは「奉仕を通して夢、希望、感動」といたしました。

我がクラブは時代の変遷に適応しながら、第60期を迎えましたが最近歴史の積み重ねと共に円熟味が増した反面、高齢化と会員減少が甚だしく、その中にロータリーの原点は職業奉仕と親睦にあることを思い、職業奉仕を通して人生に夢と希望を今一度求める活動の中から感動と喜びを分かち合う為、ロータリー年度に頑張りました。

その為には、各委員会活動を活発化させるため各委員長さんの近くのレストラン、喫茶店にて、モーニングコーヒー又はアフタヌーン紅茶の時間を活用して委員会活動を行い、委員長の委員会活動だけではなく、みんなの委員会を展開いたしました。夜のお酒の入った会合は難しくなってきました。高齢者の方も出席しやすい委員会活動になりました。

日本のロータリーは1920年(大正9年)10月20日に東京RCが設立され翌年1921年4月1日世界で855番目のクラブとして国際ロータリーに加盟承認されました。

日本のクラブ設立については、ポールハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり海外拡大に積極的に取り組んだ初代総長チェスリー・ペリーと創立の準備に奔走した米山梅吉・福島喜三次の先人達の功を忘れることはできません。

その後日本のロータリーは第二次世界大戦の波に洗われて1940年度に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって再び復帰しますが、この時に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミンズでした。その後日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団の貢献も抜群で今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。

私の会長時に我がクラブにはじめて東京RC直前会長の岡崎由雄さんをお招きし卓話をいただき、その晩長良川鵜飼をし親睦を深めました。東京RCは322人の会員をようし、国内をはじめ世界各国のゲストが例会に顔をだされ私も招待を受けました。最大の会員数は387人の年度もあったそうです。国際ロータリーで一番減少しているのは一番英国 マイナス12%、二番日本 マイナス10%、三番米国・カナダ マイナス6%、四番オーストラリア マイナス4%、インドは10年前ガタガタになっていたのが皆で色々工夫して魅力のあるクラブというのを必死に努力したお陰で増えています。増強に必死に努力したおかげで増えたのです。人口が増えたのでは無いのです。

増員している国はインド・台湾・韓国の東南アジア。時代の変化に負けず、成長を続けており、経済危機の最も大変なイタリアでも会員が増加しています。

世界へのプレゼントになろう

例会報告

昨年度日本の34地区の中で当地区は3064人でプラス7人でした。1998年5120名の会員が16年間右下がりの状況でしたが石垣年度にプラス7人となりました。関係の皆様のお骨折りでしたが今年度9月末では昨年よりマイナス13名で今年度は予断を許しません。

増員ベスト3は東日本大震災の被災地の第2520地区の岩手県・宮城県、2830地区の青森県、第2540地区の秋田県の東北地方です。厳しい環境の中で増員しています。会員減少の要因は景気が悪いという社会経済の悪化や全くロータリーのことを理解せず、また理解させないこと。ロータリー自体の時代の変化に対する対応、改革不足などの理由にできてしまっていますが、本当にそうなのでしょう。

月信11月号によりますと当地区はクラブ数78、会員数3132人のうち女性130人、岐阜RC89名、岐阜南RC78名、大垣RC87名、大垣西RC81名、四日市RC102名、松阪RC68名、津RC64名。名門伝統のあるクラブ会員数です。

出席率では地区合計で86.22%、三重県33RCで87.74%、岐阜県RC45で85.10%、2013年9月末で86.49%、2014年9月末で87.02%、2015年度86.22%の出席率となっています。100%は上野東RC、四日市東RC、関RCの3クラブです。高山西RC Cさんは80.56%、濃飛グループは83.68%でした。

私は会長エレクト時代に、懇親会を兼ねて歴代会長会議を行いバスト会長に私の年度並びに今後についてご意見をじっくりお聞きしました。その時の意見を少しお話しします。

年配クラブ員の方々は

- 1、ロータリーに魅力がなくなった。ロータリーに対する情熱、欲びが感じられない
- 2、会員参加ができるような社会奉仕活動をして、地域の皆様と心をひとつになる様な行動をすべきだ(金華山登山道補修、金華山の魅力発見散策と岐阜市の防災マップ作り。地区より、社会奉仕賞受賞。
- 3、長期欠席考への見舞い。手紙(3名90歳代の長期欠席者がおられましたので、見舞いや手紙を出しました。大変喜んでいただき奥様や家族からお礼の手紙やお電話をいただきました)
- 4、委員長のみの活動ではなく、全委員の委員会活動、理事会にあげる前に委員会で練ってくること。(モーニングコーヒー・アフタヌーン紅茶の活用)

これらの発言がありましたので私としては先輩大先輩の歴代会長の意見を参考に私の信念のもと頑張りました。

桑月バスタガバナーは挨拶でクラブにとって新しい考え方・新しい活力・新しいリソース(資源)・新しいモデル・新しい倫理観が必要、そのために過去10~20年のあり方の分析と現状の見直しが必要、地域の有効な方法論を実施するべきでそれにとどまっていれば進歩発展がない。新しい奉仕活動をするための活力、さらに倫理、私たちの動的な動きの中から会員増強を考える。会員のレベルアップをはかり、より高いレベルを生み出

し会員一人一人が会員増強に無関心、無気力であるといずれクラブは消滅します。会員一人一人が我が事の様に受け止めて新会員の勧誘・教育・既存会員の品格ある研修による退会防止・本気で真剣に取り組む必要に迫られているのが現状ですといっておられます。

そうでないと、底に穴のあいたバケツと同じでいずれ空になってしまいます。クラブ活動自体が充実していませんと会員は会員としてとどまる意欲が湧いてきません。出席率も上がりません。

会員増強は1905年ロータリーが誕生以来、永遠の課題です。ロータリー発展の原点であり、最重要課題です。ロータリーバッジの数は24あります。それは一人一人が24時間常に会員の質の向上、増強、親睦、退会防止、友の輪を考え行動できればとのこと。お互い一人でも多くの仲間を得るべく努力しましょう。

- ・平均年齢が高く退会者が多い
- ・ロータリーに魅力がなく面白くなくなった。
- ・男子中心の意識が強く女性入会に抵抗するクラブ

平成元年には正式にR I、国際ロータリークラブの定款から男性という言葉が削除しました。世界の中で日本の女性会員は低いわけですから、その分チャンスが多いのではないかと思います。今まさに安倍総理は女性登用・活用を叫んでおられます。是非殻を破っていただきたくご期待申し上げます。

- ・年会費が高い(特別会費としての徴収回数が多い)
- ・何をやっている組織なのかPRが下手で一般に知られていない。特に若者は存在も知らない。
- ・クラブ中心でロータリー全体を考えようとならない。
- ・行事が多すぎる
- ・日本の政治経済がよくない
- ・毎年トップが変わりやることが不連続で非効率
- ・奉仕活動に不熱心な人が多い。
- ・世間では金持ちでホテルで会い親睦のみの団体と思われている。
- ・ロータリーの理念等の研修が充分でない。

などなど色々欠点はあれど、されどロータリークラブです。

昼間の例会は、日本95%、外国47-48%、女性会員は日本では4%、例えば例会時間が朝のモーニングコーヒーに又アフタヌーンの例会を月に2回程取り入れる等にして会費を安くする事で、女性会員の参加率向上を図るなど工夫次第で数字は上がってくると思います。がたがたなクラブに火が消えるようになって頑張っても無理です。どんな名医でも手遅れは治りません。

ケネディ大統領は就任演説で政府が何かをしてくれるのではなく、国民が政府にどんな貢献ができるかということを考える国にしようと言ったように、クラブが何かをしてくれるかを言うのではなく、会員(私たち自身)がクラブに対して何ができるかを考えてください。またケネディが最も尊敬する人に米沢藩

例会報告

40年かけて再建をした上杉鷹山の名を挙げたんです。家族、侍、誰も彼に賛同しない彼の言うことを聞かないという状況からスタートしたのですが、そこに何かを感じることがあったのでしよう。上杉鷹山が言った「障子をあげて外を見よう」の言葉のように外を見ていますね。私たちも変化を感じ、もう一度ロータリーに対してどういう貢献をすればロータリーが良くなるかを考えて欲しいのです。そして、みんなで壁をぶち破ろうではありませんか。

それぞれのクラブには歴史や伝統があり、文化があり考え方もございます。それをこれからも大切にしていけることが大事ですが、今の時代からこれからの時代への変化に合わせて変えても良いか、変えたほうが良いか、変えなければならぬ事を議論し見直しする時が来ているのではないのでしょうか。私たちがどういう貢献をすれば、ロータリーが良くなるかを考える曲がり角に来ていると思います。ロータリーの奉仕では努力すればする程多くを得ることが出来ます。形だけでは成果は上がりません。

会員増強、出席率向上とは、ロータリアンにふさわしい品格ある人をロータリーへ、そして例会を魅力あるものにするのが今在籍するロータリアンの意識をさらに磨きRCのリーダーである会長さんや歴代会長さんなどなどの皆さんが気配り、心配りをするにより退会防止であったり会費の見直しをし効果的なクラブ運営をするにはどうすれば良いかを考え質の向上をはかると同時に活性化させ、魅力的なクラブにするべく実践することが大切になると思います。会員増強、出席率向上には王道はありません。

歴代会長さんや会員、新会員の魅力ある卓話、あるいは地域の優れた人格者、宗教家、事業成功者の人生論などこつこつとクラブの魅力づくりに真剣に取り組む考え古橋直彦会長さん、垣内秀文増強委員長さん、田近毅職業分類・選考委員長さんを中心にみんなで戦略を立て実践することがやがて良い結果を生むことになると考えます。

私は会長時代に20年間の会員減少に終止符を打つべく歴代会長の話聞き、私の気持ちを吐露し理事会、全クラブ員にはかって戦略会議を立ち上げ今、毎月戦略会議を開催し会員増強、その他の重要事項を理事会に上申し、お陰さまで会員減少に歯止めをかけ会員を増やしつつあります。

目標は、100名 女性会員5名です。10月に女性会員2名入会されました。2人共女医さんです。

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生をもたらす為に念ずれば念ずるほど輝く素晴らしい魅力あるロータリー人生になることを確信しております。

最後に歴史と伝統ある高山西RCの益々の発展を期待しております。ご清聴ありがとうございました。

<ニコニコボックス>

●国際ロータリー第2630地区会員増強部門委員長 堀場 巖 様
本日はロータリー会員増強と出席率向上について皆様と勉強させていただきます。宜しくお願いします。ロータリーの活性化の源は会員増強です。お役に立てば幸いです。

●古橋 直彦さん、遠藤 隆浩さん
会員増強部門委員長 堀場 巖 様、ようこそお越し下さいました。昨晚のお話は大変ためになりました。本日もどうかよろしくお願ひ致します。

●垣内 秀文さん、田近 毅さん、向井 公規さん、大村 貴之さん、
下屋 勝比古さん、田中 晶洋さん、新井 典仁さん
第2630地区会員基盤・増強維持部門委員長 堀場 巖 様のご来訪を歓迎いたします。また昨日は充実した楽しい時間であると共に、大変勉強になりました。会員増強に活かして行きます。本日の卓話も楽しみにしております。

●伊藤 松寿さん、井辺 一章さん
本日は地区会員増強部門委員長の堀場 巖 様にはスピーチにお越しいただき誠にありがとうございます。心より歓迎申し上げます。

●塚本 直人さん
11/1で会社店舗をオープンし無事2年が過ぎました。これもひとえにお客様をはじめ皆様方のお陰です。ありがとうございます。11/25には女性を対象としたマナー講座をセミナー形式で開催します。ご案内させていただきます。

●阪下 六代さん
職業奉仕のため早退させてもらうついでに、田中ニコニコボックス委員会頑張れ!!

●田中 晶洋さん、堺 和信さん、鴻野 幸泰さん
先週末フランスで起きたテロでは多くの犠牲者が出ました。国際観光都市「飛騨高山」にもフランスから沢山の旅行者が訪れています。対岸の火事と傍観できない心境です。犠牲者の方のご冥福を祈ると共に、一日も早く平和な世の中になる事を祈って。

